

人新世におけるゴジラ映画の行方 — *Godzilla: King of the Monsters* (2019)—

池田 淑子 (立命館大学)

ゴジラという記号は、初代『ゴジラ』(1954)から、繰り返し人類に警鐘を鳴らしてきた。「天災」の如く、嵐の夜大戸島を襲ったゴジラは、東京湾に上陸し、「原爆」の如く、東京の街を焦土化して核兵器の惨禍を視覚化する。『ゴジラ対モスラ』(1964)で平和の怪獣モスラに負けると、次第に他の怪獣と力を合わせ、恐ろしい敵から人類を救う「守護神」の意味も示すようになる。『ゴジラ対ヘドラ』(1971)では、公害から生まれた怪獣ヘドラを退治する。

一方、ゴジラ映画は太平洋を渡って輸出され、米国の観客向けに全面的な吹き替えと編集作業が行われた。昭和シリーズの米国版は広く受容された。「守護神」のイメージが NBC の TV アニメ“Godzilla” (1978-1980)に引き継がれ、初めて米国製の Godzilla が出現した。そして待望の実写版 *Godzilla* (1998)がエメリッヒ監督によって制作されたが不評に終わる。但し、実写版の続きとして再び制作された TV アニメ *Godzilla: the Series* (1998-2001)は広く受容される。実写版ではイグアナが突然変異した「爬虫類の動物」の如く、ニューヨークの街を横行し巣を作る「悪者」だったが、アニメ版では容姿はイグアナのようでも、チームとともに「悪者」の怪獣と戦い、地球を守る「正義の味方」の役割を果たす。

本発表では、3.11 以降 Legendary 社が作り出したモンスターバースの第 3 作 *Godzilla: King of the Monsters* (2019)を分析する。Godzilla は、第 1 作の *Godzilla* (2014) では、原始生態系(自然)の頂点に立つ太古の怪獣として海から現れ、地球を破壊する無確認巨大陸生生命体の MUTO と戦うが、*Godzilla: King of the Monsters* では、人類の活動がもたらした混乱の世にバランスを取り戻す「自然」の「守護神」として現れる。本発表では、米国版および米国製 *Godzilla* の系譜を辿りつつ、国境を越え時代とともに変わりゆく Godzilla という記号の意味の変容を分析し、*Godzilla* が鳴らす警鐘を読み解く。

参考文献

Kline, Jeff, Raynis, Richard (Creators). (1998-2001). *Godzilla: The Series* [TV Series]. Columbia TriStar Television.

Dougherty, Michael (Director). (2019). *Godzilla: King of the Monsters* [Film] Warner Bros.

Bernstein, Abbie. (2019). *The Art of Godzilla: King of the Monsters*. Titan Books.

池田淑子編『アメリカ人の見たゴジラ、日本人の見たゴジラ』(2019) 大阪大学出版会。